

独断

注目商品

REVIEW

球根対応ひっぱりくん 平畦の浅植えに対応

球根植え付け機

51 HP-12H



■お問い合わせ
日本甜菜製糖株式会社 東京営業所
〒108-0073
東京都港区三田 3-12-14
TEL: 03-6414-5536
<http://www.nitten.co.jp/>

1993年4月の発売以来、累計販売台数が1万台を超えた大人気定植機「ひっぱりくん」。商品名で検索するとネギを中心としたプロ農家たちのブログがたくさん出てくるが、「単純な構造なのにデキル」や「超早い」「とにかくラク！」などなど、ユーザーの評判も上々だ。

そんな「ひっぱりくん」に、新たにワケギを中心対象とした球根対応バージョンが現れた。ワケギの日本最大の産地は広島県で、作付面積は1000ha、年間生産量4000トン。5000人超が作付けしているが、その多くが3〜5aの小規模栽培で植え付けは手作業中心のため、作業の簡易な機械化が求められていた。事業規模を考えると大型で高価なものは敬遠されがち。そこで、安くて簡単と白羽の矢が立ったのが「ひっぱりくん」。ワ

ケギ農家の声を受けて、広島総研農業技術センターと日本甜菜製糖(株)が共同開発を行なってきた。

基本性能はほぼ同じだが、従来機が育苗してから植え付けるのに対し、HP-12Hは球根の状態のまま植え付けるのが最大の特徴。移植苗に比べて小さな種球に対応するため、いくつか設計上の変更が加えられている。まず、平畦の浅植え用なので溝切りが深くないことや、浅植えのため鎮圧ローラーを省いたことなどから、重量を従来機より約5kg減の8kg(ウエイト除く)と軽量化。これにより取り扱いの利便性が向上したほか、価格も1万円近く安い9万1350円(税込)という設定になっている。



また、従来機は苗台の下にあったローラーを苗台から独立させることで車高を低く抑え、球根が苗台から外れるのを防ぎと共に土寄せを設置、深さの一定しないデコボコのあ

る植え付け面でも均平化できる。種球の大きさによって溝幅は調整可能。植え溝の深さはネジ位置を変えただけ。

作業は従来機同様、至ってシンプル。調整した種球を苗箱にセットしたチェーンポットに詰めて30分間浸水したら、あとは「ひっぱりくん」をひっぱりただけ。これで株間が10cmか15cmの均一な植え付けができる。

広島農技センターによれば、植え付けに要する時間は1a当たり25分と、手植えによる慣行の10分の1で済む。さらに、チェーンポットの抵抗で、物理的にリン茎肥大を抑制し、調整作業の効率化が可能になるとい

う。日本甜菜製糖(株)では、「ワケギだけでなく、ラッキョウやニンニクなどのほか、浅植えの球根なら花きや軟弱野菜にも対応できる」としており、作業の効率化を目指す経営者にとっては注目の一台だ。(門馬照久)

仕様

型式	HP-12H
全長	1,630~1,715mm
全幅	315mm
全高	760~940mm
重量	10.1kg(ウエイト2kg込)
植付け条数	1条
対応紙筒	CP303、CP305 CP354、LP303